

The Japan Interior
Designers Association
Monthly Report
No.235
Jan, Feb, Mar, 2007

JID news

JID月報：通巻235号
平成19年1月・2月・3月号
発行日：平成19年3月31日

発行：(社)日本インテリアデザイナー協会
〒163-1008 東京都新宿区西新宿3-7-1
新宿パークタワー8F
電話 03-5322-6560 FAX 03-5322-6559
発行人：川上玲子

社団法人日本インテリアデザイナー協会

目次

巻頭：理事長メッセージ

本部報告(事業推進).....	2
平成18年度 第5回理事会報告.....	3
本部報告(国際委員会).....	5
// (総務委員会).....	5
// (選考委員会).....	6
トピックス.....	7
MEMBER'S SALON.....	8
支部活動報告(九州事業支部).....	10
// (中部事業支部).....	11
// (関西事業支部).....	12
// (関東事業支部).....	13

事務局からのお知らせ.....	14
新会員紹介.....	15

理事長メッセージ

JID創立50周年 記念事業について



理事長 川上 玲子

いよいよJID創立50周年記念事業実行委員会が設立されました。

会員の皆様には実行委員会による企画案と積極的なご参加お願いの依頼が届いていることと思います。半世紀に一度のこの時期にJID会員である事を認識し全員参加の趣旨のもと、明るく楽しい記念事業になるよう願っております。

日本のデザインが世界で注目されている昨今、50年前に設立されたJID創立メンバーによるデザイン、その原点が問いかける意味を探り、これから先の50年を視野に事業展開が出来ればと考えています。会員の皆様の積極的なご意見、アイデアを数多くお寄せ頂ければ幸いです。

50年と言う長い歴史を持つJIDは、国際活動の場にあ

っても微妙な立場で期待感を感じています。例えばAPSDAのある国のメンバーからは是非日本がリーダーシップを取ってAPSDAやIFIを充実したものにしたいなど、アジアでの会議に出席するとロビー会談などで話題になります。今回も新しくマレーシアで加盟が認められた中国の団体CBDAの来日にあたり台湾の理事であり、IFIの理事でもあるYAO氏よりプライベートにメールが入り、東京で理事会を開く中国CBDAのメンバーが是非JIDとの会合を持ちたい旨の依頼がありました。同時に事務局にも正式な要請があり32名の訪問者リストが送られてきました。JIDとしても出来る限りの対応の必要性はあると思いますが、今後のためになるような交流を考えなければなりません。既に2010年にはCBDAが主催国として北京でAPSDA会議が行われるということです。

このようなアジアを含めて、国際活動にも目を向けて行かなければならない時期にあるJID、そして50周年記念事業、全ては会員のみなさまの情熱と積極的な協力があってこそ実現できるのではないのでしょうか。

また、JIDが活発な活動が行えるように1人でも多く新しい会員の入会に向けて、みなさまのご支援よろしくお願ひ申し上げます。



JID創立50周年記念事業実行委員会 (50周年実行委員会)

運営組織 構成

委員長 川上玲子

副委員長 岩倉榮利、小宮容一

スーパーバイザー（実行委員長補佐数名）

顧問 長岡貞夫、泉修二、木村戦太郎

各委員会（○印は委員長）

- | | |
|-------------------------|-----|
| ◆総務委員会 | 各支部 |
| ○丸谷芳正、木村戦太郎 | |
| ・ 特別事務局の設置 | |
| ・ 事業推進の管理 | |
| ・ 監督官庁との調整・組織の管理 | |
| ◆財務委員会 | 各支部 |
| ○小宮容一、秋山修治 | |
| ・ 資金計画 | |
| ・ 予算など執行管理 | |
| ◆広報委員会 | 各支部 |
| ○吉良ヒロノブ、長岡貞夫、秋山修治 | |
| ・ 意見広告構想 | |
| ・ PR 活動、メディア対策 | |
| ◆出版委員会 | 各支部 |
| ○安藤清、泉修二 | |
| ・ 特別事業の出版・総括 | |
| ◆事業委員会 | 各支部 |
| ○山本棟子、清家淳一、山永耕平、阪井良種 | |
| ・ 展覧会 | |
| ・ セミナー | |
| ・ デザイン学校 国内・国際交流ワークショップ | |
| ◆メモリアルパーティ | |
| ○村口峯子、酒井正人 | |
| ・ 式典パーティ | |
| ・ JID 50周年記念シンポジウム | |

各事業支部

関東事業支部 支部長 佐藤健一
中部事業支部 支部長 小宮三辰
関西事業支部 支部長 清家淳一
九州事業支部 支部長 飯田一博

本部報告・事業推進

「JID賞2006」巡回展 4支部を巡る

副理事長 小宮 容一

平成 16・17 年度の「事業推進担当」が発案し理事会で承認された「JID賞」の支部巡回展が、先日1月15日～21日九州事業支部主催で賛助会員（株）アデルのアデルクラシック 2F ショールームを提供いただいて開催された。これをもって「JID賞 2006」の4支部巡回展が全て完了した。

写真は大阪会場



顧みて、出だしは賞の発表と贈賞式を含み、本部・関東事業支部で平成 18 年 1 月 19 日～24 日新宿パークタワー 6F OZONE ロードサイドスクエアで「2006 JID 賞ビエンナーレ展」として開催された。日を置いたが、中部事業支部で 10 月 25 日～30 日デザインセンターギャラリーで開催された「インテリアアワード展」で他のインテリア団体と肩を並べた展示となった。続いて関西事業支部では 12 月 7 日～12 日 ATC ITM 棟 10F 大阪デザイン振興プラザ「デザインギャラリー」で空間・サイン系 5 団体が開催する「日本の空間デザイン 2006」の JID コーナーに展示した。年を明けて、九州事業支部が前述のように開催した。

関西事業支部では以前から「日本の空間デザイン展」で展示していたが、中部事業支部、九州事業支部では初めての展示であった。両支部共に正会員・賛助会員はさることながら、一般の方々、学生諸君に多に JID をアピールすることができた。各支部担当理事、各支部長もこの巡回展の意義を再認識し、今後も継続すべきとの結論に達した。

一歩進んで、次の「JID賞 2008」の巡回展が、北海道、四国などで開催することが出来れば、真に広く「日本」に JID をアピールできると考える。50 周年記念事業として取り上げることも検討したい。

理事会

平成18年度 第5回理事会

日時：平成19年1月26日(金) 15:00～18:00

場所：社団法人日本インテリアデザイナー協会

OZONE 会議室

出席：理事長 川上玲子

副理事長 岩倉榮利、小宮容一

理事 吉良ヒロノブ、酒井正人、清家淳一
丸谷芳正、村口峯子、山永耕平
山本棟子、(委任出席 安藤清)

監事 川上信二、宇賀敏夫(欠席)

I 報告事項

[1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

[2] 平成18年度収支状況報告(12月末)

[3] その他

1. 財務運営資金繰り

2. 次回理事会予定 平成19年3月30日(金)13:30～

3. 年間会員異動状況

II 議題

第1号議案 平成19年度予算要求案検討
(各事業支部・本部各委員会)

第2号議案 後援・協賛名義承認の件

第3号議案 会員入退会承認の件

第4号議案 議事録署名人選任の件

I 報告事項

[1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

◆関東事業支部(村口)

1. 研究委員会以外の委員会は今回特に報告事項なし。

2. 研究委員会

Table design 展終了、残務整理及び最終決算中。

◆中部事業支部(安藤理事委任出席のため文書にて)

1. 12月26日 12月度役員会・連絡会、家族の椅子見学会・忘年会実施。(家族の椅子ショールーム)

2. 1月18日 第10回連絡会実施。

3. 1月21日～22日 国際デザインセンター開館10周年パーティ及び国際シンポジウム参加。

4. 1月24日 インテリア互例会兼中部新年会参加。
今後の予定

1. 2月～3月 JID 中部学生賞授与(8校)。

2. 2月9日 宇賀会員 Dr 授与のお祝い会を名古屋メルパルクで予定。

3. 2月24日 2月度役員会・連絡会、3月24日、3月度役員会・連絡会、をそれぞれ予定。

4. 3月27日 CCDO ナイトクルージング、名港100周年管理組合所有高速艇「ぼーとおぶなごや」のインテリア見学及びイタリア村にて交流会を予定。

◆関西事業支部(清家)

1. 総務委員会

12月15日(水) 第5回運営委員会開催、各委員会に平成19年度予算(案)の検討依頼。

1月17日(水) 総務委員会開催、上記予算(案)確認。

2月6日(火) 第6回運営委員会開催予定。

2. 事業委員会

12月12日(火) 「日本の空間デザイン2006ラストパーティ」開催、「日本の空間2006 & 学生賞」収支報告、55点集まりUSD-O 会長賞をいただく。

来年度より各参加校へテーマや募集要項の早期告知を行う。又、空間デザイン展の事業報告の提示を委員長へ依頼。

その他、3月予定「愛媛の企業との交流」企画検討。

3. 情報委員会

1月10日(水) e-ECHO 創刊号(ECHO30号)発行。

4. 研究委員会

11月30日(木) 第5回研究委員会を開催、アンケート調査の第1回まとめ(案)など検討。

2月1日(木) 第7回「終りのすみか」研究会開催予定。

5. USD-O(大阪デザイン団体連合機構)

年4回「情報誌e-mail版」出版予定。JID 関西からは3ヶ月の情報を提出。

2月9日(金) 「USD-O 新春の集い」Hallo! 2007 Designer's Chat in 開催、清家理事企画参加。

6. JID-ACT Kansai

1月6日(土) 新年会開催。又毎月1回、定例会議を開催し、活発な活動を予定。

7. 1月24日(水) 新商品説明会を開催、賛助会員(株)リッツウェルが参加。

◆九州事業支部(山永)

1. 10月30日 福岡市今泉「時離宮」オープニングパーティ、会員2名参加、「アスクラス」福岡支社招待。

2. 11月25日(金) 第3回例会(日田)開催、理事会報告、「第2回学生」ファニチャーデザインコンペについて(株)アダルショールームで開催(1月18日～21日)。2008年「インテリアデザイン2008—九州」の準備、テーマ New Japanese Interior-modern in Kyusyu(案)企業と学生とのコラボレーションによる製品化へ向けてプロジェクトを検討。

その他、「若野屋旅館」昼食と見学及び日田市総合文化施設建築現場視察。

3. 1月15日(月)～21日(日) JID 賞巡回展(株)アダショールームで開催。

4. 1月18日(木)～21日(日) 第4回「座る形展」を(株)

アダルトショールームで開催。

5. JID九州事業支部主催、第2回ファニチャーデザインコンペを1月20日(土)開催、同日「座る形―展」審査及び新年会と表彰式を実施。

◆本部総務委員会(丸谷)

1. 11月28日、12月8日 委員会開催。

JID ビジネスパートナーズについては、各事業支部より新しい活動に関しての情報は特になし、しばらく静観の予定。

2. 12月8日 本部総務委員会とビジネスパートナーズ賛助会員12社参加による報告会兼忘年会開催、大きな商談があった旨報告があった。

3. 2007 ニューイヤーズパーティについて詳細の打合せ。著作権法などD-8での権利保護についての報告。

◆本部国際委員会(酒井)

1. 2月にAPSDA 報告会開催を予定。又関西支部での開催も検討。

2. IFI 関連については、10月10日～12日まで韓国釜山で開催、テーマは jeong beyond reason sensibility で主催者 COSID により着々と準備が進んでおり、JID からの多くの参加が望まれている。今後広報と魅力的なツアーを検討。

3. その他、関西事業支部八十会員よりのフィスカルス・ツアーの提案があり検討する。

◆本部情報委員会 インターネット(吉良)

1. 新ホームページのデザイン改訂について

本部ホームページのデザイン改訂は完了し、12月より正式公開とした。

JID News 234号にてホームページリニューアルを告知。

JIDビジネスパートナーズ説明ページ、一部修正実施。

2. 今後の活動について

本部・支部トップページの統一感を持たせるため、タイトル部分のテンプレート使用の調整を進める。

3. JID賞ビエンナーレを掲載する予定。

- 4 本部のサーバーに支部を入れるかどうか検討。

◆本部情報委員会 JID News(清家)

1. JID News 234 号 12月26日発行。内容は理事会議事録、本部委員会・各事業支部活動報告、Table design 展報告及び members SALON 等掲載。

2. JID ニュース 235 号 2月15日原稿締切り、最終3月5日締切り、3月末～4月初め発行予定。

◆選考委員会(岩倉)

1. JID 賞ビエンナーレ、特別審査員決定。隈研吾氏(デザイン系)、川崎健二氏(専門誌)、川床優氏(評論家)。

2. 以上で応募要項、ポスターのデザイン制作発注予定。

[2] 平成18年度収支状況報告(12月末)

平成18年度収支状況(12月末)について事務局長より

報告。

[3] その他

1. 財務運営資金繰りについて事務局長より報告。

2. 次期理事会(平成18年度第6回理事会)を平成19年3月30日(金)に開催予定。

3. 年間会員移動状況について事務局長より報告。

議長は報告事項について了承を求め、理事会はこれを了承した。

Ⅱ 議題

◆第1号議案

平成19年度予算要求案検討(各事業支部・本部各委員会)

提出された予算案について検討、未提出があり、今後2月～3月にかけて正副理事長、総務担当理事及び事務局にてつめ第6回理事会で承認を得る。

議長は承認を諮り、異議なく承認された。

◆第2号議案

後援・協賛名義承認の件(2件)

- ・「JCD/DAIKO 連続デザインシンポジウム」

＜後援・継続＞

- ・『ニッポンデザイン界のマスターたち』展 ＜後援・新規＞

議長は承認を諮り、異議なく承認された。

◆第3号議案

会員入退会の件(6件)

- ・正会員 入会(1件)

山門順子(関東) 推薦人:長岡貞夫、鎌田博子

- ・正会員 退会(1件) 0822 清貴穂(関西)

- ・正会員 退会(2件) 1162 岡部文絵(関東) 退会届なし
1214 馬場英彦(関西) 〃

以上定款第8条2項(4)により退会したものとみなす。

- ・賛助会員 入会(1件)

株式会社藤栄 推薦人:川上 玲子

- ・賛助会員 退会(1件)

以下定款第8条2項(4)により退会したものとみなす。

3138 株式会社ワイ・エム・ケー

議長は承認を諮り、異議なく承認された。

◆第4号議案

議事録署名人選任の件

議長は清家淳一、丸谷芳正両理事の承認を諮り、異議なく承認された。

社団法人日本インテリアデザイナー協会 平成18年度第5回理事会に関し、定款第6条に基づき、議事経過及び議決事項を記すため、議長と議事録署名人が記名捺印する。

議長 川上玲子

議事録署名人 清家淳一、丸谷芳正

本部報告

国際委員会

担当理事：酒井 正人
委員長：小野 由記子

“Let's join IFI 2007 Busan”

IFI(国際インテリアデザイナー連盟)の第23回総会とそれに付随するデザイン会議が下記の内容で開催されます。主催するKOSIDが時間を掛けて練り上げた充実した内容がプログラムからも伝わってまいります。是非ウェブサイトもご覧下さい。国際委員会では、関連したKOREAデザインツアーの企画を検討しています。

■日時：

IFI 23th 総会 2007年10月8日(月)・9日(火)
デザイン会議 2007年10月10日(水)～12日(金)

■場所：韓国 釜山 BEXCO

■テーマ：jeong beyond reason and sensibility

■主催者：IFI (International Federation of interior Architects/Designers)・釜山市・KOSID (Korean Society of interior Architects/Designers)

■デザイン会議の紹介：

IFI 2007 釜山デザインコンGRESSは、スペースと人、人と人との感情の交換においてオーガニックな関係性を追及する“jeong”をテーマとしており、インテリアデザインの友好的環境、文化、美学の認識、未来のテクノロジーの集中などへの観点から我々を取りまくスペースについて大いに討論しようというものです。“jeong”は日本語の情に近い心の動きやありさま)人文学分野の著名な学者やさまざまなフィールドで活躍するデザイナー達がコンGRESSに招かれます。そして参加者には彼らの討論を通し“jeong”のアイデアに基づいたデザインについて見識を得る良い機会となる事でしょう。

日本からはインテリアデザイナー杉本貴志氏、建築家伊丹潤氏、グラフィックデザイナー原研哉氏がゲストスピーカーとして招かれています。

■参加登録費：早期予約 2007年8月31日まで 一般 450US\$・学生 250US\$

費用にはコンGRESS全3日間のセッションへの参加、ウェルカムレセプション、ガラディナー、フェアウェルパーティー、ブレイク、ランチ、ギフトが含まれます。

■登録方法：

4月1日から10月5日までオンラインによって可能です。

IFI 2007 Busan Secretariat office@ifi2007.org

■第23回IFI総会は10月8日～9日の二日間、32カ

国から200名の代表が集まり同会場で開催されます。JIDもこれまで同様代表派遣を予定しています。

APSDA報告会

2006年11月に開催されたAPSDA 2006クアラルンプールの報告会を行いました。

2月16日に大阪Arflexのショールームにおいて、関西事業支部の会員の方達に酒井担当理事から直接ご報告させていただきました。16名参加。

3月2日には乃木坂のセラトレーディングショールームにおいて同社によるホテルインテリアトレンドスライドショーと併せ開催し20名ほどの参加者と意見交換を行いました。

国際委員会 委員長 小野 由記子

本部報告

総務委員会

担当理事：丸谷 芳正
委員長：伊藤 公一

JID NEW YEAR PARTY 2007 報告

本部総務委員会 道明 三千代



毎年恒例のJIDニューイヤーパーティが2007年1月26日(金)18時30分よりOZONE 8F グリーンハウスで開催されました。

総勢80名を越す盛況で、昨年に引き続き賛助会員がビジネスパートナーズとして今回も14社21名が参加され、多くの企業が会場のテーブルにパンフレットを置いてアピールしていました。

今回は川上理事長からJID創立50周年を来年に控え

記念事業の準備に大切な年になることを強調されたと挨拶がありました。

2007 年が始まり、昨年の長期に亘るテーブル展に続き、今年も JID が社会に向けて活動する時を迎え、新入会員 2 名と新賛助会員 1 社が紹介されました。

会場では久しぶりに参加された方々との楽しい懇談の内に、多くの方々が会場を地下に移した 2 次会へと懇親が続きました。

JID ビジネスパートナーズの利用状況について

JID ビジネスパートナーズ
レポート 1

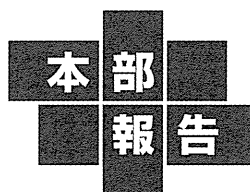
JID BUSINESSPARTNERS

本部総務委員会 富田 恵子

JID ビジネスパートナーズがスタートして半年が過ぎ、今回、正会員と参加賛助会員（企業）との直接取引が可能となるこのシステムを利用された方に感想を伺ってみましたので、ここで御紹介させていただきます。

「私は以前、勤務していた会社を辞めフリーになったばかりの時に、あるメーカーにそれまでの様に商品を注文しようとしたところ直接取引は出来ないと断られました。今となっては当然と思えることでも、当時は門前払いをくらったようで腹立たしく、代理店を通しての価格はそれこそゼネコンのオプション販売会で一般の消費者が購入できるより低い割引率。早々に大企業を離れたフリーの現実を味わう事となりました。今回、JID 会員であれば誰でも利用できるビジネスパートナーズの参加企業の中にあのときのメーカーの名前を見つけ（既に代理店経由で取引はしていましたが）事務局に「パートナーズを利用したい」と電話をかけたところすぐに FAX で申し込み用紙が届き、記入したものをメーカーの担当者に送りました。その日のうちにいただいた見積、納期等納得した上で即、発注。最短納期で無事納品することができました。難無く直接取引成立。小額の取引にも拘らずスピーディーな対応とメーカーの担当者とのやり取りができる安心感はやはり違います。今後も機会があればこのシステムを大いに利用していくつもりです。」（30代・正会員）

このシステムが今後も会員相互のビジネスシーンに大いに役立つことを期待し、また多くの会員の方々に利用していただけることを願っております。



選考委員会

担当理事：岩倉 營利
委員長：木村 戦太郎

2008 年 JID 賞ビエンナーレ

応募要項・ポスターのデザイン決定と配布について
JID 選考委員会委員長 木村 戦太郎

選考委員会では 2 月 21 日に委員会を開催し、デザイナーから提案されたポスターデザインの選定と応募要項の校正を行い、デザインを決定して発注しました。

今回の JID 賞は、JID 創立 50 周年記念事業の一環として行われるため応募要項にその旨を記載し、ポスターに JID50 のロゴマークを入れました。ポスターデザインは、JID50 周年記念事業のテーマである「原点」を意識して企画し、真っ白い花のクローズアップを使ったデザインとしています。選択に際しては、A2 サイズのポスターの印象と、ウェブサイトでの小さい画像の印象が共に強いインパクトを持つかどうか？も配慮しています。

応募要項は 3 月中頃には皆様のお手元に届くと思いますので、奮ってご参加頂きたいと思ひますし、周囲の方々にも呼び掛けやご推薦など、ご協力のほど宜しくお願いします。前回の JID 賞の応募者数は、過去最高の 236 点となりましたが、今回もそれに劣らない成果を上げるためには、会員の皆様のご協力が不可欠です。真っ白い花が印象的な綺麗なポスターですので、効果的な場所にご掲示頂くなど、周知についてのご協力をお願いします。

尚、今回の特別審査員は以下の 4 氏です。

川崎 健二氏 デザインアソシエーション 理事長
川床 優氏 ユニバーサルデザイン誌 編集長
隈 研吾氏 隈研吾建築都市設計事務所
川上 玲子氏 JID 理事長

そして JID 賞の今後の日程は

5 月～6 月 応募受付
7 月～8 月 一次審査（書類選考）
8 月～9 月 二次審査（現地・現物調査）
10 月中頃 最終審査
2008 年 1 月 贈賞式
となっています。

以上、JID 賞 2008 についてご報告しました。

ナナ・ディッツェル回顧展 — 動と美の感色 —

1月27日から2月25日まで 大阪市中央区
谷町4丁目にあるART ON INTERIOR
[ROGOBA]においてナナ・ディッツェル
女史の回顧展を観る機会に恵ま
れましたので、その一部分を報告
させていただきます。

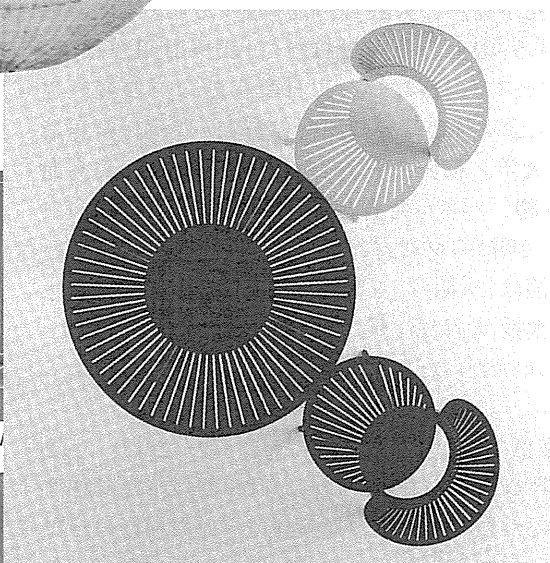
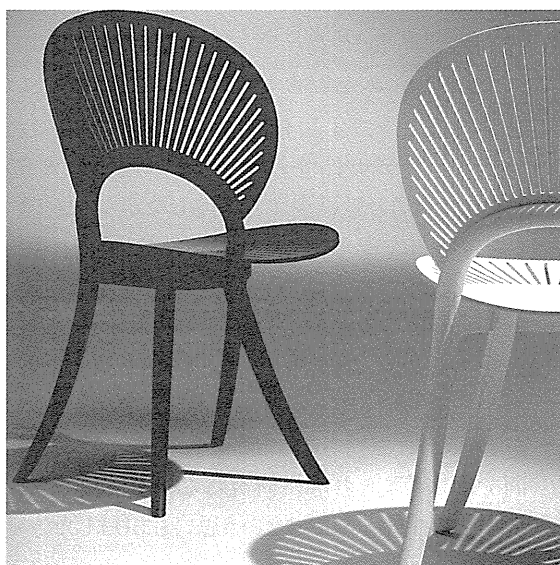
ナナ女史の椅子は、ナナ・ディ
ツェルの名を知らなくても「椅子」
には見覚えがある。
一度見たら頭に残る強い印象は、
個性的で洗練されたフォルムを持
ち、インスピレーションを素直な形
に纏めた純粋さに加えて、人にや
さしい形や素材の扱いが印象的。
会場ですぐ目を引いたのは、Easy
Chair や Hanging Egg-shaped Basket Chair。
とても50年代にデザインされたとは思えないモ
ダンで洗練されたフォルムは今も新鮮に輝いている。



92年に発表されたトリニダードチェアは(カリ
ブの島トリニダード・トバコで見かけた格子
のイメージをデザインした椅子)オリジ
ナルのプロトタイプと量産化された製品
を並べて観る事が出来る。

プロトタイプでは脚部が木製の柔ら
かい曲線を描いているが、構造
的な問題が解決出来なくて量産
品はスチールパイプ製となった。
座面と背板の印象を残し、より
軽快さが加わった様にも思える。

82歳で他界されるまで現役で通し、
現代に通じる若いセンスを維持され
た背景は何処にあったのか?
印象に残る展覧会でした。



八十 常充
JID News 委員長

写真提供: ロゴバ

ナナ・ディッツェル回顧展ご案内

- ・[名古屋展] 期間: 2007年3月7日~3月18日
会場: ハンドワークデザインスタジオ
 - ・[名古屋展] 期間: 2007年3月21日~4月2日
会場: 国際デザインセンター
 - ・[東京展] 5月開催(予定)
- お問合せ: ロゴバ Tel.06-6944-8111

MEMBER'S SALON

JIDNewsを彩る会員情報の交流サロンです。メッセージやレポートあるいはエッセイなど、自由に楽しい会員の声をお寄せください。(原則として1,000字以内+写真1〜3枚程度)

～他団体からのたより～ インテリア学会第18回大会終わる

小宮 容一 関西事業支部

平成18年10月28日、29日の両日にわたりインテリア学会の第18回大会が、関西で開催され、盛況に無事終わった。

28日は見学会が、大阪と京都の境である天王山の麓に点在する「国宝 待庵」「聴竹居」「大山崎山荘美術館」を巡るコースで行われた。29日は論文・パネル発表大会が、大会実行委員長の加藤力先生の尽力で宝塚造形芸術大学／梅田キャンパスで開催された。論文発表が36題、パネル発表が4題であった。途中講演会をはさんで朝から夕刻まで知的充実の日である。

特別講演は「大阪学」を執筆されている帝塚山学院大学名誉教授 大谷晃一氏に「大阪文化と大阪人」と題してお話いただいた。

さて、私儀ですが、大学を出てデザイナーとなり、縁あって大学でデザインを教える身になり、学会にも参加することになった私です。同様の経歴を持ったJIDの会員は大勢います。今回の大会委員長の加藤力氏、委員のペリー史子氏、塚口真佐子氏もそうです。

社会でデザインをしていた人が、デザインを教えるというのは必然性のあることです。半面「インテリアデザイン学」がまだまだ成熟していないともいえます。

JID会員で我と思う若い人は、教えることにも手を上げて、インテリアデザインを産学でというか、職学で高めて行きたいものです。

「富山から発信」

丸谷 芳正 中部事業支部

昨年春に、長年お世話になりました関東事業支部から中部事業支部に移動しました。関東事業支部の皆さんには入会以来大変お世話になりました。この場を借りてお礼を言わせて頂きます。また、中部事業支部の皆様にはこれからお世話になることと思いますので、よろしくお願いいたします。今回のレターは理事ではなく富山県に在住する一会員として報告いたします。

富山県の国立大学法人富山大学(来た当時は高岡短期大学)に着任して早9年になります(本当にあっという間です)。来た当初は神奈川県のアトリエと往復する生活がしばらく続きましたが、肉体的に辛い状態になり、現在はキャンパスのある高岡市内に工場を借りて、事務所兼工房とし、家具デザイン・製作と姿勢保持(身体不自由者に対する道具作り)の仕事を中心に活動しています。



工房のある高岡市吉久の町並み(加賀藩の米の出荷所として栄えた)

大学で教えつつ工房を運営するという二束のわらじ状態ですが、デザインを教授するには現役の実務者であることが大切と思い少々無理をしながら生きています。まあ言い方を変えると、やはり仕事が面白いのです。こちらのほうが本当の理由かもしれません。

また、大学で教えたいという気持ちも前からありました。大学での専攻はグラフィックデザインでしたので、家具デザインや木材加工を苦勞しながら勉強したということがそのような気持ちにさせたのだと思います。また、民間では採算をとれない研究はなかなか出来ませんが、大学では出来るのではという思いもありました。

こちらに来るまで富山県はあまり縁がないと思っていました。自分の専門性を活かせる大学の公募があり、その大学の教授からの強い誘いがあり応募し採用され、その場所がたまたま富山県だった、最初はそのようなつもりでした。富山県に来てからわかったことですが、丸谷家のルーツは能登半島の付け根の石川県羽咋市の柳田という村にあり、大学のある高岡市とは目と鼻の先に

あり、昔は同じ加賀藩でした。現在も藩区分の名残があり富山県民の意識は藩の区分である西と東に分かれています。両親は樺太生まれでしたが、こころの地域から北海道そして樺太へ開拓に渡った人は多かったようです。丸谷の祖先もそのように新天地を目指したようです。そのような訳で三代かかって元の場所に戻ってきたのかなあ感慨深い気持ちになりました。その後いくつかの出会いがあり、やがて首都圏という大きなマーケットから心が離れ富山県、北陸という地域が自分の中で大きなウェイトを占める様になりました。

そのように心が変化しだした頃、大学も変革期に入りました。国立大学の法人化、統合、短大から4年制への移行と激動の時期を過ごすことになります。そのような変化の中で、いい事もありました。それまで富山県内の大学には建築学科がありませんでした。大学の再編統合は建築学科をつくるよい機会と思い提案しました。言ってみれば見るものです。地元建築界からの期待もあり、思ったよりもスムーズに実現しました。多くの方の努力があり実現したのはもちろんですが、その実現に加わったことは幸いでした。私が加わることでインテリアデザインとその一分野である家具デザインを建築教育のカリキュラムに入れることが出来ました。空間の主役が人間にあることを考えれば建築教育にインテリアや家具のデザインを入れることは自然ではないかと考えました。JIDでも活動のひとつにヒューマニジングデザインというテーマを出していたと思います。また、時代の趨勢として建築は長寿命化する方向で進むと予測され、その次に来るのは生活の質の向上、言い方を変えればインテリアの質を高めることが求められるはずです。まだ始まったばかりなので大言壮語は控えなければいけません、教育やデザイン活動をとおして地域との関わりを考えていきたいと思っています。一例として、昨年からの取り組みでいる間伐材の利用に関する産学連携授業の成果をホームページで発表いたしましたので、ご覧いただけたら幸いです。

●富山大学 芸術文化学部広報HP

<http://geibun.jp/artabe/>

●工房(設計工房MandM)のHP

<http://www.kobo-mandm.com>

●産学連携授業「地場産杉を使用したインテリア・家具の提案」のHP

<http://gp.takaoka-nc.ac.jp/himisugi/>

川崎さん さようなら

— 2007年2月20日逝去 —

山崎 晶 関西事業支部

創立50周年を前にして創始者メンバーの一人が消えた。川崎浩さん享年86歳。JID創立にかかわる関西の重鎮としてその推移を見つめてこられた。貴重な意見番であった。JIDでは長く理事、関西支部長を勤められ、日本の、関西の、インテリア業の草分けとしてなにかとうるさい存在であった。昭和57年秋 紫綬褒章、平成4年春 勲5等瑞宝章を受けられた。

株式会社大丸装工事業部(現株式会社大丸装工)では設計部長が長く、皇居、迎賓館をはじめ多くの有名建築のインテリアデザインをプロデュースされ同社のインテリア部門を業界で一流の組織に育て上げた。船舶のインテリアから航空機の内装に至るまで興味の赴くまま首を突っ込まれた。戦後国産旅客機YS-11の開発には異常な情熱を注がれた。

堺在住であり20年ほど前に「堺デザイン協会」を立ち上げられ、地域のデザイン活動に一石を投げられた。

「堺デザイン協会」は今も健在であり発展中である。

とにかく知識欲の旺盛な方であり、博学でおられた。戦中戦後、書物らしきものなかった時代、手持ちの百科事典を読破され頭脳の中の本棚にビルトインされたという。それが処かまわす出てくるものだから聞いている方はたまったもんじゃない。知識に裏打ちされた行動もまた多彩であった。行きあたりばったりの結婚式に上りこんで祝杯を頂いてくる…なんて事は朝飯前。お酒の飲み方も並ではなかった。我々若輩はいつも新しいネタ話を心待ちにしていたものである。色々な事を教わった。知識のみならず酒の飲み方、礼儀作法、英国紳士のマナー等々。自分の事で恐縮だが、人からよく“川崎さんに似てきたな”と言われたものである。もっとも生来臆病持ちの身としてはなかなか教える実行するまでには至っていない。

3年ほど前に、最愛の奥様を亡くされてから、川崎さんは急に素直になられた。持ち前の気丈さは健在だったが奥様の話になると涙が止まらなくなった。

今、川崎さんのご逝去は寂しい限りだけれど、すこしホッとしていることも事実。

川崎さん、長いおつき合いありがとうございました。

奥様によろしく。おふたりお幸せに。

合掌

九州

KANSAI

CHUBU

KANTO

JIDNEWSKYUSHU

日田の文化施設の建築現場視察

九州事業支部 交流委員長 江島 太士

1月25日11:00、晴れ時々くもりのまずまずの天気、日田インターから車で3～4分の豆田町若野屋旅館にて第三回の例会、議題は第2回学生ファニチャーデザインコンペとJID賞の巡回展九州開催の会場の決定!

50周年に向けて「九州インテリアデザイン展」のテーマや取り組みについて、いろいろ意見交換することが出来ました。数年ぶりのデザイン展ですが、これ迄より心に残る楽しいものに、そして日常生活にあたかな何かを感じる事が出来るものになればいいなと思っています。例会の後はインテリアプランナー協会員2名と今回もディスカッションの会場を提供してくれたIDハウスの伊藤邦隆さんも加わり、別室で毎日違う季節のオリジナル弁当を味わいました。食後この木造三階建ての最上階を案内していただきました。天守閣みたいな作りと眼下の瓦や年月を経た床板、壁、建具とついつい見とれてしまい、次の移動も遅れてしまいました。

13:30～福岡から建築家西島敬一郎氏が合流、計11名の参加者と日田市総合文化施設の建築現場視察。はじめに、設計管理をされている東京の香山壽夫建築研究所日田設計室の根路銘剛次さんから現場事務所で図面、縮尺模型、原寸模型、材料、色サンプル等、詳細に説明していただきました。

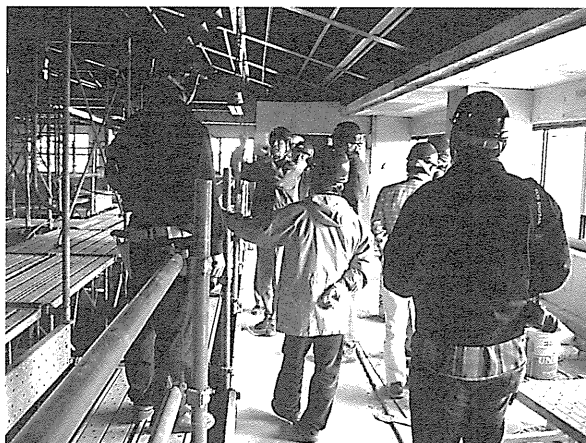
この建物は1000名収容の大ホールと340名の小ホールを持つ劇場で、その中央にはオープンな通り抜け通路があり、表と裏を繋ぐ役割と共に市民の交流の場として解放されています。

その他、市民のための美術ギャラリーや文化活動のための創作室や音楽スタジオなども計画されています。

また、地元の日田杉をいかに使うか、優れた伝統技術をいかに使うかなど、すごく研究されていました。地元の産業試験場や左官職人、小鹿田焼窯元など地元の技術者とのコミュニケーションや共同開発など地元の材料の利用がなされていました。

ヘルメットをかぶって建築現場を視察。土曜日でしたが、普段の作業を見ることができました。通路に照明コードが走っている足場のある建築現場です。各所で壁塗りがされています。いつのまにか支部長の服に壁塗りのコンクリートがベッタリ!犠牲になりました。ナムアミダブツ。

完成前の建造物は何を語り、何を教えてくれるのかと期待にうきうきしていましたが、強烈なものではなく、ホール2階席に差し込むわずかな明かりに椅子を取り付ける前の階段状のコンクリートが寂しく力強く、照らし出されていました。また、大ホールの天井裏から見たステージ等々静かな感動を覚えました。まだ60%前後の完成途上ですが、しっかりした骨組みと、インテリア空間は日に日に生まれていく生命の誕生を感じました。



4:00過ぎには視察も終わりましたが、少し時間を取り過ぎ予定を大幅に過ぎてしまいました。事務所に戻ってお礼の挨拶をして次の懇親会場「IDハウス」へ。

元会員の伊藤さんの家具が展示してある家具ギャラリー「IDハウス」ゆっくりと椅子の一つ一つに腰掛けながら制作の話やデザインについてお話をお聞きする。

その後、奥さん手作りの菓子を食べながらのコーヒータム。JID会員、学生に、インテリアプランナー協会から2名、建築家1名の参加も加えての懇親会でした。みなさんから、今度は文化施設の完成後を見たいですね。こんな交流会をJID主催、インテリアプランナー協会主催、建築家協会の主催にこだわらず、みんなが参加できるようにしたいですね。と話がはずみました。

「中部インテリアデザイン連絡会」の動き 第2・第3弾!

※第1弾はインテリアアワード展(JIDNews前号に掲載)
中部事業支部 小林 修

<第2弾>

連絡会が進める事業の共催と行事の共有は、年が明け早々の1月26日に実施された(社)インテリア産業協会中部支部主催による、新春講演会と賀詞交換懇親パーティーに出席。

この催しは、主にインテリア産業協会の会員企業に向けての情報交流会とされてきたが、企業向けの内容から個人への情報発信への場として、団体の加盟会員への広報を行う事で連絡会の役割を果たす事と、従来比較的に交流の無かった団体一般会員との交流が目的であった。

中でもインテリアコーディネーターの地域組織化が小さな単位で為され、中部地区や愛知県及び名古屋に及ぶ組織が存在しない等々を知る機会を得、コーディネーターの皆様もこの連絡会に寄せる期待も感じられた。更に、コーディネーター試験に合格したばかりの学生や若い人も多く、将来のJID会員として期待する皆さんと大いに交流ができ盛会であった。

セミナー:「新しい都市環境とこれからのライフスタイル」

講師:愛知県立芸術大学教授 林 英光 先生



因に中部インテリアデザイン連絡会は、以下の5団体による、インテリアデザイン活動に関する情報交流組織です。

- * (社)インテリア産業協会中部支部
- * (有)中部インテリアプランナー協会
- * 日本インテリア学会東海支部
- * (社)日本インテリアデザイナー協会中部事業支部
- * アクティブ・インテリア・アソシエーション

<第3弾>

連絡会が進める事業の共催と行事の共有は、第2弾の余韻も納らぬ2月9日、JID中部事業支部主催による、<宇賀敏夫先生(JID監事)博士号取得記念セミナーと祝賀会>が開催された。

この催しは、名古屋工業大学建築都市環境デザイン学の掘越教授の御指導のもと、念願の博士号を取得された論文とその過程での御苦労を伺い、又世に送りだされた数々の作品の一部およびGマーク等を受賞された作品等をセミナーにて発表して頂く機会を得て、生涯現役デザイナーとしての意気込みも伺うことができ、大いにパワーを頂いた。

(当日は大阪より小宮容一副理事長の御出席を賜り、この紙面をお借りし御礼申し上げます。)

セミナー:「これからの病院のロビーチェアの在り方」
—高齢化社会に向けての待合室の椅子形状について—
講師:宇賀 敏夫 先生



祝賀会では、進行役をインテリア産業協会田島支部長代理が努め、中部インテリアプランナー協会安藤会長の開催挨拶に始まり、来賓として名古屋工業大学大学院掘越教授の祝辞、日本インテリア学会建部支部長の乾杯音頭、川上JID理事長の祝電はじめ各団体・企業からの祝電も披露され、中部事業支部からの記念品、名古屋工業大学大学院の同窓生からの花束贈呈、友人スピーチ等々と華やかに、又和やかに進行した。宇賀先生を中心に、テーブルでは教え子との交流、学生と現役デザイナーとのデザイン談義など大いに盛り上がり、JID会員を含め各5団体の会員および役員は、この連絡会の果たす役割が、今後各団体の活動や事業へのバックアップとなる事を盛会の中で確信した。

本部国際委員会 酒井担当理事の報告会

八十 常充



JIDが加盟する国際組織にIFI(国際インテリアアーキテクト・デザイナー団体連盟)とAPSDA(アジア太平洋空間デザイナー団体連盟)のあることはよく耳にするので知っている。しかし、これらの団体連盟は何を目的にどのような組織で、またどう関わったらいいのか・・・はよくわかっていない。

そんな事から関西では、かねてから国際担当理事にお願いして昨年は坂本前理事に、今回は酒井担当理事の来阪を機会にAPSDA報告会を開きました。

2月16日6時半から御堂筋本町のアルフレックスショールームをお借りして酒井担当理事から06年11月22日マレーシアクアラルンプールで行われたAPSDAの報告と07年10月に韓国・釜山で行われるIFI総会へ多数の参加要請がありました。

APSDA会議は9ヵ国+新入会2団体参加者350人により、各団体からの報告と各種懸案事項が討議され、アジア各国はデザインを政策的に捉え、国や業界の後押しもあって10人単位の参加者を送り込み、かつての日本のデザイン界を思わせる勢いを、酒井担当理事のお話を聞いていて感じました。

10月に行われるIFI・プサンは日本に一番近い隣国での開催であり、JIDとしても多数の皆様の参加をお願いしたいとの要請がありました。

単なるお付き合いではなく、魅力ある内容を期待して、盛り上げたいと思います。

第8回

「企業による新製品・重点商品説明会」

関西事業支部 事業委員会 委員長 高瀬 守博

第8回「企業による新製品・重点商品説明会」を2月24日(土)に、DAIKO電機様のショールーム見学(午後1時30分～)の後、2時20分からセミナー・ルームにて開催、JID、ACT、KIPA 会員他総勢24名が参加しました。今回は家具分野から2社、壁紙・カーテンから1社、照明から1社の4社で、各社30分ずつ質疑応答も交えじっくり発表していただきました。

【株式会社リッツウェル】

素材感を生かしたオリジナルのフォルム、心地よく癒されるシンプルかつ洗練されたモダンなスタイル。それでいて、決して無機質な冷たさを感じさせない、あたたかみのある家具の提案です。1995年「アリス511」、2001年「ゼニーツ309」でグッドデザイン賞を受賞。

1992年、福岡県福岡市にて設立。2003年東京都港区に東京ショールームを開設、近々大阪にも開設予定。



【株式会社オリバー】



安全・快適なインテリア空間の創造をテーマに高品質な製品づくりに取り組み、総合カタログ及び各施設向けカタログを中心に、オリジナル家具の設計・製造に至るまで、トータルに対応できる総合力が魅力です。

今回は、海外デザイナーカタログ“Creare”を紹介。ヨーロッパのモダンデザイン商品を選定し、COMFORT・ACTIVE・ELEGANCE・CASUAL・STYLISHの5つのコンセプトに分類して商品を掲載しています。施設のアメニティをより上質な空間へと提案する商品群です。ごく一部を実物で紹介されました。

【リリカラ株式会社】

「快適な生活空間を創造し、提案する」ことを企業使命として、個人住宅からオフィス・ホテル・商業施設・公共施設などの空間作りを、インテリアという視点からトータルに提案しています。

今回はカーテンカタログ「FD ファブリック・デコ 06～08」の中から紹介されました。

- シアーコーディネート：様々な薄地生地が新しい透明感を演出。
- セレシー：素材・デザイン・技法にこだわった「シック&ウォーム」な生地。
- Mフロント：高層マンション住宅などをモダンに飾る機能性コレクション、全点防災。



【大光電機株式会社】

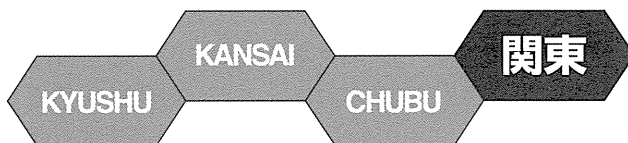


光・音・時間の三段階で防犯を行う。それをステップ防犯と言います。その中で光の防犯は、不審者に対して「やる気をなくさせる」第一段階の防犯として効果が高く、場所に応じた照明を設置することで犯罪を未然に防ぎます。光を活用した、より高い防犯効果を実現する照明の提案です。

以上、発表内容をご紹介しました。

その後の「懇親会」は、和・洋・中の料理と赤・白ワインとビールで会話が済み、和やかなうちに清家支部長の挨拶でお開きになりました。

JIDNEWSKANTO



関東事業支部 総務委員会 活動報告

関東事業支部 副支部長・総務組織委員会委員長
酒井 正人

関東事業支部・総務組織委員会では新年度の活動に向けて、できるだけ多くの会員が委員会活動やプロジェクトの立上げに関われるよう準備した、PMB 制度（プロジェクトメンバーバンク制度）を最新の内容に修正し、各委員会・プロジェクトへの活動参加の「登録申込書」を支部会員の皆様へお届けする準備を進めています。これは、単に活動の活発化だけが目的ではなく、多くの会員の方々が参加することで、活動内容のクオリティが高まり、結果、JID のブランディング UP が図れると考えております。ブランディング UP を図ることは会員個人の様々なメリットも生じ、1年後の JID50 周年に向けてぜひ皆様で考えていただきたいテーマだと思います。

50 周年では様々な企画準備が予測されるため、特に、今まで委員会活動に参加されていない方々や、20 代、30 代の若い世代の方々には、ぜひこの機会に、新たな活動の場を構築していただけないかと願っております。現在、関東支部には5つの委員会（総務組織・事業・交流・研究・広報）があり、各委員会の中に様々なプロジェクト活動が行われていますが、既存プロジェクトに参加するだけではなく、こんなテーマで活動、研究、発表したい…なども OK です。また、普段は忙しくなかなか JID での活動はできないが、こんなテーマ、企画ならタイミングをみて参加できるかも、などのご要望等がありましたら、いつでも事務局まで総務組織委員会宛にお知らせいただければ幸いです。

どうぞよろしくお願い致します。

「情報」から『広報』へ！ JID創立50周年の碑として

関東事業支部 広報委員会 委員長 石川 尚

会員、ならびに賛助会員の皆様、昨年後半から早乙女委員長にかわり、委員長をお引受けした石川尚です。まずは、お知らせいたします。

関東事業支部情報委員会は、2007 年 2 月 28 日の関東事業支部委員長会議において「情報」委員会から『広

報』委員会に改名することを決定しました。

従来の「情報」は内部(関東事業支部)における情報伝達や情報交換的役割の存在でしたが、今後は内部だけにとどまらず、より広く社会にJID 関東を発信する役割を担う意味で『広報』といたしました。

さて、現代社会では。

誰もがパソコンやモバイルのインターネット(IT)を通じ、あたり前のように様々な情報を得ることが可能になっています。ITは、発信する側からみると、いかに価値のある情報を発し、またそれを継続していくかが、大変重要なキーワードであり、ビジネスチャンスを生む装置となっています。

ホームページ上でGoogle、Yahooなどの検索サイトが日常生活に必要不可欠な存在となっています。そして、検索サイトで常に上位に位置することは、広く世間に認知される機会が増え、より公共性をともなうことを意味します。また、個人からの情報発信の中には、大手企業や公的機関をものぐ勢いの人気ホームページやブログ(日記風ページ)が存在します。

つまり、ITを利用して、内容・価値のある情報を広く発信することで多数の支持を得、個々のブランドが確立し、そして支持されるというサイクルが生まれているのです。

このようなIT社会に対応すべく、関東事業支部情報委員会ではJID 関東のホームページを数年前から立ち上げ、昨年リニューアルをいたしました。

JID 創立 50 周年を目前にしたこの機会に改名した関東事業支部広報委員会は、次年度以降ホームページの位置づけをさらに高いポジションにおき、

『関東支部ならびに支部会員のブランディングUP! (ブランドを高める)』を目標に掲げました。

具体的な活動内容は、

1. KANTOホームページの充実…JID創立50周年記念の碑
 - 支部会員・賛助会員“全員”の紹介(プロフィール&ワーク)
 - 支部各委員会活動の紹介(プロフィール&ワーク)
2. 取材・広報活動の充実
 - 各委員会活動の広報 → ホームページ表記の定期化
 - 支部会員・賛助会員 広報便
3. ライブラリーJID KANTOの設立
 - 各委員会によるセミナー・展示記録の整理/リソースの準備

まだまだパワー不足のJID 関東ホームページ。ホームページの内容を充実することにより、さらなるJID 関東のブランド、会員&賛助会員全員のブランドを高めなければなりません。ブランドを高めるということは、すべて協会・会員&賛助会員に様々な形で還ってくることであります。割高な会員費もホームページによるブランディングの確立で相殺され、新たなネットワーク・ビジネスチャンスの構築ができると言っても過言ではありません。

関東事業支部広報委員会は、春からの事業新年度に向かって上記目標を掲げ、新規に委員会メンバーも募集をいたしております。

JID 創立 50 周年の碑として、ホームページの充実を最重要課題に新たな活動を目指してまいりますので、皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

事務局からの お知らせ

会員異動のお知らせ

※「会員名簿」該当ページをご訂正ください

◆正会員

会員番号0451 岩倉 榮利 会員名簿・関東p.3
・勤務先電話、FAX変更
Tel:03-6418-8122 / Fax:03-6418-8120

会員番号0842 小野上 勝志 会員名簿・関東p.5
・自宅住所変更 〒157-0071
東京都世田谷区千歳台6-16-6-708
Tel:03-3326-0553

会員番号1051 柴田 弘子 会員名簿・関東p.7
・氏名、支部 寺司 弘子
変更 九州事業支部

会員番号1203 野木村 敦史 会員名簿・関東p.10
・自宅住所変更 〒422-0000
静岡県静岡市駿河区東新田4-1-3-908
Tel / Fax: 054-259-6685

会員番号0672 樋浦 洋行 会員名簿・関東p.10
・勤務先住所 〒171-0044 東京都豊島区千早1-14-18
変更 Tel:03-5917-3751 / Fax:03-5917-3753
h-hiura@create-associati.jp
・自宅住所 〒178-0061
変更 東京都練馬区大泉学園町8-25-18/401
Tel / Fax:03-5534-9818

会員番号1244 山川 富喜子 会員名簿・関東p.13
・勤務先変更 本社 〒104-0061
東京都中央区銀座3-11-17
デュープレックス銀座タワー
スリーイレブンス 302

会員番号0428 山田 晃 会員名簿・関東p.13
・勤務先住所 〒141-0022
変更 東京都品川区東五反田5-1-11
ニューフジマンション201
Tel:03-3443-1720 / Fax:03-3446-2052
choukoubou@marble.ocn.ne.jp

会員番号0543 千田 要宗 会員名簿・関西p.17
・社名、 株式会社飛行船スタイル
勤務先住所 デザインオフィス HIKOSEN
変更 〒550-0003
大阪府大阪市西区京町堀1-12-8 3F
Tel:06-6441-3483 / Fax:06-6441-3484
design@hikosen-style.co.jp

◆賛助会員

会員番号3157 株式会社カシワリビング 東京支店
会員名簿・賛助p.26

・社名変更 柏 木工株式会社 Jホームスタイル東京

会員番号3086 ナショナル物産株式会社
会員名簿・賛助p.27
・担当者変更 インテリア事業部 事業部長 木戸 紀明
kido@nt-j.com

会員番号3091 財団法人日本産業デザイン振興会
会員名簿・賛助p.28
・住所変更 〒107-6205 東京都港区赤坂9-7-1
ミッドタウン・タワー5F
Tel:03-6743-3773 / Fax:03-6743-3778

会員番号3112 プラス株式会社 会員名簿・賛助p.28
・住所変更 〒107-0052 東京都港区赤坂2-5-1
東邦ビルディング2F
Tel:03-5860-5515 / Fax:03-5860-5516

会員番号3128 ヤマギワ株式会社 会員名簿・賛助p.28
・担当者変更 インテリア商品部 次長 安斉 章

新会員 紹介 正会員

①会員名 ②会員番号(支部) ③推薦者
④勤務先・事務所 ⑤自宅



①山門 順子
やまかど じゅんこ

②1268 (関東事業支部)

③長岡 貞夫・鎌田 博子

④日本ベッド製造株式会社

〒146-0082 東京都大田区池上5-6-3

Tel:03-3752-4371 / Fax:03-3755-7672

⑤〒151-0066 東京都渋谷区西原1-31-6

Tel:03-3468-5896 / Fax:03-3468-5896

junko.y.arthur@dolphin.ocn.ne.jp

今後のご発展とJID活動での活躍を期待しています。

新会員 紹介 賛助会員

※賛助会員数62社(平成19年3月現在)

株式会社 藤栄

会員番号3191

〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3丁目6番14号

Tel:052-961-5421 / Fax:052-961-5423

担当者:代表取締役 伊藤 英資郎

推薦者:川上 玲子

訃報

宮野 志郎 氏

(関東事業支部 正会員)

平成19年1月19日逝去 享年55歳

川崎 浩 氏

(関西事業支部 名誉会員)

平成19年2月20日逝去 享年84歳

謹んでご冥福をお祈りいたします

JID news

企画・編集：本部情報委員会

JID News 担当理事 清家淳一

JID News 委員長 八十常充

// 委員 山崎晶

// 関東事業支部 佐藤健一

// 中部事業支部 小林修

// 関西事業支部 塚口眞佐子

// 九州事業支部 下田隆

——あとかき——

KOKO も読んで下さい！

JID ニュース編集を関西で担当するようになって3年が経過しました。

はじめの1年は以前のJID ニュースに合わせて理事会議事録や本部委員会、各支部の活動を報告記事として、デザインを新しく、読み易さを重点にリニューアルしました。

その後 MEMBER'S SALON やトピックス欄を設けて、各地でご活躍の会員の声や展覧会、仕事への取り組みのアピールなど積極的に取り上げるようにしました。

233号「フィスカルのデザインによる村おこし」や234号「Table Design 展を振り返って」などのようなエボックとなる記事の特集として取り上げたいと思っています。

現状、関西の編集室だけでは情報収集に限界があります。全国の皆様からの情報提供をこちらからお待ちしております。宜しくお願いいたします。

八十 常充

No.235

発行日：平成19年3月31日

編集デザイン：西尾直事務所
印刷：株式会社岡本印刷所